

中学年分科会（対象：3年1組28名）

1 分科会提案

(1) 目指すよい学習像

中学年分科会第3学年の目指すよい学習とは、「つぶやき」がたくさん出る学習である。思ったことや考えたことを自由に「つぶやける」のは児童が主体的に学びに向かっているからであり、「つぶやき」がたくさん出ることによって一部の児童だけで進む学習ではなく、学級全体を巻き込んだ学習になり、活発な話し合い活動にも発展できると考える。

(2) 「よい学習」を実現するための手だて

①導入の工夫

教材の面白さに気付かせることで、児童が主体的に学びに向かい、自然と「つぶやき」が出てくると考える。本教材は、読み手が自由に想像することが楽しいファンタジー作品である。児童のよく知る「注文の多い料理店」をスライドショーで紹介し、物語の謎が次第に解き明かされていく楽しさを味合わせ、本教材に繋げていく。

②「なぞ解き」の設定

毎時間「なぞ解き」をしていく展開にすることで、単元を通して児童が自分事として教材に取り組み、ワクワクした気持ちで「つぶやく」授業になると考える。また、同じ展開、同じワークシートを使用することで、児童が安心して授業に没頭し、多くの「つぶやき」が出るようにする。

2 単元名「かぎのなぞをとけ！～登場人物の変化に気をつけて読み、かぎのひみつをとき明かそう～」

教材名「まいごのかぎ」（光村図書 国語3年上）

3 教材観

本教材は登場人物「りいこ」に不思議なことが次々に起こるファンタジー作品である。不思議な出来事の中で変化していく「りいこ」の様子や気持ち、考え方を読み取っていくことが中心となる。学年の初めに学習した「春風をたどって」では、言葉に着目して登場人物の気持ちを想像することが大切である。ここでは、場面毎に「かぎのなぞ」を解き、最後には場面と場面をつないで「かぎのなぞ」と「登場人物の気持ちの変化」を読み取っていく。本学習を通して、離れた場面と場面、言動と言動等を比べて読む学習につなげていきたい。

4 単元の目標・評価規準

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
目標	・様子や行動、気持ちや性格を表す語彙の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。(1)オ	・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。C(1)エ	・進んで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、感想や考えをまとめるようとする。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。(1)オ	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 C(1)エ	・登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って主題について話し合おうとしている。

5 児童の実態

本学級の児童は、物語を想像しながら読むことが好きで、「春風をたどって」の学習では物語のその後を想像して発表した。自由に想像することに楽しみを感じているので、叙述に沿って想像する楽しさも味わわせていきたい。また、隣同士で話し合うことにあまり抵抗感がなく、自分の考えを素直に説明できる児童が多い。半面、全体に発表することは苦手であり、一部の児童だけで学習が進んでしまうことがある。

6 指導計画

次	時	主な学習活動	・指導上の留意点 ◆評価規準 ☆評価方法
1次	1・2	① 「注文の多い調理店」のお話を聞く ② 範読をして意味を確認し、物語の最初と最後で変化したことを捉える。 ③ 単元のゴール・学習計画を立て、学習の見通しをもつ。 ④ 物語の全体を捉えて場面や出来事を確認、場面分けをする。	・「注文の多い料理店」の謎解きをすることで、ファンタジー作品の楽しさや面白さに気付かせる。 ・最初と最後の場面を比べ、「りいこの気持ち」や「うさぎやかぎの存在」が変化していることに着目させ、なぜ変化したのかの「なぜ」を解く意識を高めさせる。 ◆単元のゴールや学習計画を理解し、「かぎのひみつカード」を書く活動に意欲をもって取り組もうとしている。【態】 ☆発言・観察

2次	3 ・ 4 ・ 5 (本時) ・ 6	<p>⑤ 場面ごとに「かぎのひみつ」を考えてワークシートに記入する。</p> <p>⑥ 「かぎのひみつ」が読み取れる叙述をさがして、本文シートに線を引く。</p> <p>⑦ 探した叙述について、本文シートをもとに話し合う。</p> <p>⑧ 話し合ったことから、「かぎのひみつ」について再び考えて、ワークシートに記入する。</p>	<p>・登場人物の状況や行動、会話などに着目させながら読み、物語を捉えさせる。</p> <p>◆叙述に着目して読むことで、様子や行動、気持ちを表す語句の量を増やしている。</p> <p>【知】 ☆記述・発言</p> <p>・「情景」と「登場人物の気持ち」を結び付けて、何が読み取れるのかを考えさせる。</p> <p>・場面と場面をつなげて「かぎのひみつ」を考えさせる。</p> <p>◆登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。【思】 ☆記述・発言</p>
3次	7 ・ 8	<p>⑨ 自分の「かぎのひみつ」作文を書く。</p> <p>⑩ 作文を読み合う。</p> <p>⑪ 学習をまとめる。</p>	<p>・自分自身の「かぎのひみつ」作文を楽しみながら書かせる。</p> <p>・自分の作文と比べながら友達の作文を読ませる。</p> <p>◆感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。【思】 ☆発言</p>

7 本時の学習(5/8時間目)

(1) 目標

登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像する。

(2) 展開

	○学習活動	・指導上の留意点 ◆評価規準 ☆評価方法
導入 (5分)	○場面の事件について確認する。 ○単元のゴールを確認し、本時のめあてを立てる。	
あじの開きじけんまでの かぎのひみつをさぐろう！		
展開 (25分)	<p>【かぎのひみつを考える】 ○変化から「かぎのひみつ」を考えて、ワークシートに記入する。</p> <p>【変化に線を引く】 ○教師の範読を聞きながら、鍵を挿す前と挿した後で変化したことについて、本文シートに線を引く。</p> <p>【かぎのひみつについて話し合う】 ○本文シートを見せ合いながら、鍵の秘密について話し合う。 ○学級全体で共有する。</p> <p>【かぎのひみつを考える】 ○話し合ったことから 鍵の秘密を考えて、ワークシートに記入する。</p>	<p>・自分で考えた「かぎのひみつ」を、ワークシートに記入させる。</p> <p>・鍵を挿す前と後で、「かぎのひみつ」を感じさせる叙述を本文シートに線を引かせる。</p> <p>・今までの事件もふまえて考えるように促す。 ・自分と同じ考えや理由はないかを考えながら対話させる。</p> <p>◆ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。【思】 ☆記述・発言</p>
まとめ (5分)	<p>【振り返り】 ○今日の学習について振り返る。</p>	<p>・「気付いたこと・考えたこと」「友達と話してみて」「次時への見通し」についてワークシートに振り返らせる。</p>

(3) 具体的な児童の姿と、目標の実現を目指すための手だて

十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要すると判断した児童 (C) への具体的な手だて
登場人物りいこの気持ちの変化や情景(鍵を挿す前と挿した後)について、今までの場面(さくらじけん・ベンチじけん・あじの開きじけん)をつなげて具体的に想像している。	登場人物りいこの気持ちの変化や情景(鍵を挿す前と挿した後)について、本場面(あじの開きじけん)から具体的に想像している。	変化を捉えられない児童には、変化のある叙述に線が引いてある本文シートを渡し、想像の手助けにする。また、今までの「かぎのひみつ」を提示して参考にさせる。

(4) 修正した本時の指導案

	○学習活動	・指導上の留意点 ◆評価規準 ☆評価方法
導入 (5分)	<p>○場面の事件について確認する。</p> <p>○単元のゴールを確認し、本時のめあてを立てる。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">あじのひらき じけんまでの かぎのひみつをさぐろう！</p>	<p>「前時の振り返り」を共有することで、本時に考えることを明確にすることができた。</p>
展開 (25分)	<p>【かぎのひみつを考える】</p> <p>○変化から「かぎのひみつ」を考えて、ワークシートに記入する。</p> <p>【変化に線を引く】</p> <p>○教師の範読を聞きながら、かぎを挿す前と挿した後で変化したことについて、本文シートに線を引く。</p> <p>【かぎのひみつについて話し合う】</p> <p>○本文シートを見せ合いながら、かぎのひみつについて話し合う。</p> <p>○学級全体で共有する。</p>	<p>・自分で考えた「かぎのひみつ」を、ワークシートに記入させる。</p> <p>・かぎを挿す前と後で、「かぎのひみつ」を感じさせる叙述を本文シートに線を引かせる。</p> <p>・今までの事件もふまえて考えるように促す。</p> <p>・自分と同じ考えや理由はないかを考えながら対話させる。</p>
	<p>考えを書いたワークシートは見ずに話し合いをさせることで、本文に立ち返りながら互いの考えを交流することができた。</p> <p>本文に線を引くことで自分の考えに根拠をもたせることにつながった。また、事実の変化のみに着目させることで、登場人物の心情の変化とは区別して「かぎのひみつ(力)」を想像することにつながった。</p> <p>本文シートを使うことで、これまでに注目してきた叙述も話し合いの中に入れてながら考えることができた。</p> <p>自分の考えを話したい、友達のをもっと聞きたいという気持ちの現れか、話し合う人数が自然に増えていくグループがあった。</p>	<p>◆ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。【思】 ☆記述・発言</p>
	<p>【かぎのひみつを考える】</p> <p>○話し合ったことから かぎのひみつを考えて、ワークシートに記入する。</p>	
まとめ (5分)	<p>【振り返り】</p> <p>○今日の学習について振り返る。</p>	<p>・「気付いたこと・考えたこと」「友達と話してみても」「次時への見通し」についてワークシートに振り返らせる。</p>

自分の考えをしっかりとっている児童が主導する話し合いは一見活発に見える。しかし、話し合いについてこれない児童がいるのも事実である。そこで、ペアや人数を変えた少人数でのトークを繰り返すことで、多くの考えに出会わせることができたかもしれない。

8 板書計画

まいごのかぎ⑤ さいとう りん

⑥ あじの開きじけんまでの
かぎのひみつをさぐろう！

【かぎをさす前】

- ・魚の開きが一面にならべてある

○飛ぶことができる
○ねがったことがかなう
○やりたいことができる
○自由になれる

←

【かぎをさした後】

- ・たちまち、小さなかもめみたいに、
羽ばたき始める

【さくらじけん】

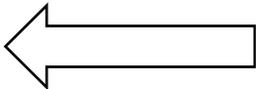
- どんぐりがふる
- きせつが変わる
- やりたいことができる

【ベンチじけん】

- 動けるようになる
- のんびりできる
- 自由になれる

【三つのじけん】

- 自由になれる？



9 机間指導の目的(◎)と言葉掛け(・)

- ◎ 鍵を挿す前と挿した後の変化を捉えるために
 - ・ 鍵を挿す前と後で、何が変わったかな。
- ◎ 鍵の秘密を探すために
 - ・ 事件は今までにいくつあったかな。
 - ・ 今までの事件の秘密を思い出してみよう。
- ◎ 話し合いに根拠をもたせるために
 - ・ 本文のどこから考えたかな。
 - ・ 自分と似ているところ、ちがうところを考えながら聞いてみよう。

10 資料

「かぎのひみつ」作文例

まいごのかぎ⑦「かぎ作文を作ろう」

(さいとう)

みんなが休み時間に遊んでいる校庭にかぎあながあった。



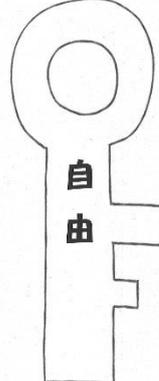
やりたいことができるか

校庭に手足が出てきて、みんなと楽しく遊び始めた。

まいごのかぎ⑦「かぎ作文を作ろう」

(さいとう)

動き出して、ゆかやかべに好きに書き始めた。部屋中、文字や絵でいっぱいになった。



自由

いつもみんなに文字を書かれているノート。